

八幡平市



6年生に出前授業をする増田知事。児童からたくさんの質問が出されました

増田寛也県知事が10月26日、平館小学校(相馬定子校長、児童168人)で出前授業を行いました。県内の高等学校や小中学校で行われる知事の出前授業は本年度4カ所目です。増田知事はこの日、正午過ぎに来校し、6年生28人と給食で会食。田村正彦市長と高橋北英市教育長も加わり、班ごとの席で、児童たちと会話

平館小に知事が来た！給食と授業で交流会



会話を弾ませながらおいしい給食も一緒に食べました

を弾ませながら、給食を楽しみました。この日の給食は、地元食材にこだわったメニューで、西根地区のホウレンソウやダイコンなどを使った野菜サラダやコンソメスープが並びました。5時間目は、増田知事が6年生の教室で出前授業を行いました。知事は県内や八幡平市の産業と特色について説明。「学校で学んだことは将来きつと役立つ。目標を持って、勉強やスポーツに取り組んでほしい」と児童たちを激励しました。この後、全校児童が出前授業のお礼に合唱を披露しました。

日本屈指のジャンパーが松野小で記念授業

創立130周年を記念して、松野小学校(加藤常明校長、児童150人)は10月7日、同校の卒業生で現在スキージャンプ界の第一線で活躍する遠藤悠介さん(23歳、野駄)を招き、特別授業を行いました。遠藤さんは「夢に向って飛ぶ」と題して講演。自身も五輪出場を目標とし「好きなことは何度やっても楽しいもの。楽しむことは夢をかなえる一歩になる」と偉大な先輩が、児童たちにアドバイスしました。



遠藤さんは「夢」を持つ大切さを児童たちに伝えました

伝統引き継ぎ市スキー大会実行委員会設立



総会であいさつを述べる田村正彦市長

市スキー大会実行委員会設立総会は11月21日、安代若者センターで開かれました。総会には関係者約50人が出席。合併に伴い解散した安代町スキー実行委員会を引き継ぎ、中学校や高校の県大会、県民体育大会などの運営を支えることが承認されました。同委員会会長に就任した田村正彦市長は「スポーツにより市の活性化につながる大会運営をしていきたい」と述べました。